

団体名	公益財団法人 石川県国際交流協会							
事業名	世界遺産「五箇山」と重伝建「高山」探訪バスツアー							
実施期間	2017年11月25日(土)							
場 所	五箇山(富山県南砺市)と飛騨高山(岐阜県高山市)							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	45名	0名	2名	5名	3名	0名	0名	55名

<実施内容>

金沢では晴れていましたが、高山では雪の予報が出ている出発の朝で、多くの参加者は分厚いコートやブーツでしっかり防寒した姿でバスに乗り込んできました。会館のすぐ脇の、館生は普段通学にも使っている金沢大学角間キャンパスへ通じる道を通っての旅の始まりとなりました。

最初の目的地、五箇山が近づくと、徐々に雪が目に入り始めます。到着した菅沼集落は前夜のうちに積もった雪がかなりありました。まずは最も古い合掌造りのひとつ「村上家」へ上がり、囲炉裏の周りに全員が座ります。囲炉裏の炭火で沸かしたお茶をそれぞれ各自が自分で柄杓でよそったものを飲みながら、村上家の解説員から説明を受けたあと、生演奏とともに五箇山の有名な民謡であるこきりこ節の踊りを鑑賞しました。そのあと、伝統的な楽器である「ささら」を実際に使わせてもらう体験をしました。

その後は、菅沼集落にある硝酸の館、民俗館を見学しつつ、集落を散策しました。その頃には冷たいみぞれまじりの雨が降りしきり、凍える寒さの中での散策になりました。しかし雪景色の合掌造り集落には風情があり、参加者からは寒さを忘れるほど美しく感動したという声が聞かれました。

その後、バスで飛騨高山へ移動。食事は「まつりの森」にて、和食を頂きました。天ぷらや茶わん蒸し、鍋などの和風料理で、見た目が華やかでボリュームもあり、一同みな満足した様子でした。その後はせんべい焼き体験に挑戦。係員に作り方の説明を受けて、実際に炭火でせんべいを焼きました。焼きたてのせんべいをその場で頬張って味わいました。

そしていよいよ高山市内を自由散策です。高山に到着してみれば、雪の予報が幸いにも外れ、青空が広がりあたたかいほどの好天に恵まれました。古い街並みの残る通りを、趣のある建築や、土産物屋、和風カフェなどが賑やかに並ぶ様子を堪能しつつ陣屋前まで歩き、集合場所まで戻りました。参加者の多くは途中、みたらし団子や飛騨牛の握りといった高山の名物グルメを楽しんでいました。

その後は五箇山に戻り、「五箇山和紙」にて、和紙の原料である楮を実際に触らせてもらいながら解説員から説明を受け、そのあと実際に紙漉きの体験を行いました。おみやげには五箇山和紙を用いた「ちぎり絵セット」などを頂きました。

普段館生が住んでいる金沢も古い伝統が息づく町ですが、今回のツアーでは、また雰囲気を変えた、山間部の地域で継承されてきた、素朴でありながら優美で気高い文化を体験することができたツアーとなりました。

<記録写真>



「村上家」にて囲炉裏を囲む

飛騨高山を散策

高山別院にて、記念撮影

<参加者からのコメント>

朱曉霞さん(中国)/Miss. Zhu (China)

かねてからの憧れの地であった五箇山・飛騨高山へのバスツアーは本当に楽しかったです。金沢からほんの少し足を伸ばした先の懐かしい風景を見つけました。五箇山は合掌造りの住宅が残っていることで、世界遺産になっていますが、観光した時、雪が残っている状態で真っ白の世界とってよかったです。また雅な京の文化と粋な江戸の文化の洗練された高山の独特で古風で美しい街並みを享受しました。そのほかこきりこ踊りやせんべい焼き体験なども印象深いです。このバスツアーは短くても、人生の中で絶対に忘れられない異国の旅行となりました。

キム・ヒガブさん(韓国)/Mr. Kim (Korea)

先日、会館の留学生たちと一緒に五箇山と飛騨高山へのバスツアーに参加しました。まだ行ったことがなかったので、このような機会があつて良かったと思います。個人的になかなか行けない所なので、バスで楽に旅行できたのは本当にありがたいことでした。今回の旅行を通して日本の美しい伝統文化と観光地を経験できたことは、長く心に残る思い出になると思います。参加して良かったです。